

## 第6次沖縄県観光振興基本計画（素案）に対する県民意見及び対応について

【募集期間】 令和3年12月17日から令和4年1月17日

【募集方法】 郵送、メール、FAX

【意見等の数】 3名（個人1・団体2）から延べ6件

頁・行	素案（案）	修正案	ご意見	ご意見に対する考え方
41頁・18行	ア 危機管理体制見直し・強化	-	より具体的に記載し、強化してほしい。地震や台風以外にも様々な自然災害が起こる可能性があるため、緊急時にお客様が沖縄のどのエリアにいても位置情報と連動させ、その時に必要な最新の情報が入手でき、安心、安全に避難できるように誘導するしくみづくり。	ご意見ありがとうございます。 本文を「危機に迅速かつ的確に対応するため、観光危機管理計画や対応マニュアル、観光危機訓練等について広域化の推進、危機発生時の観光客への情報発信（多言語含む）に取り組み、危機が発生した際には、国・市町村及び関係機関と連携し、観光客の安否 確認等を行った上で必要な帰宅支援等の対応を着実にを行う」として、記載の中で取り組んでいきます。
49頁・20行	キ 沖縄の温暖な気候を活用したツーリズムとウェルネスツーリズムの推進	-	ウェルネスツーリズムの推進については追加で富裕層向けのメディカルツーリズムも記載してほしい。ザ・ペニンシュラ東京内にある会員制高級メディカルクラブ5StarsMedicalClubのような最新のアンチエイジング医療を提供するサービスなども含め、PET検診含む医療ツーリズムで海外はもちろん、国内富裕層客も取り込みたい。医療に対しては高い技術力と美容に関しては、「空気」や「水」といった自然の豊かさで体だけでなく心もいやすプログラムを提供できるとよい。	ご意見ありがとうございます。 「温暖な気候を生かした避寒地としての観光や花粉症対策など「健康・長寿」のイメージを活用したツーリズムを推進する。また、各地域に点在するパワースポットやヨガなどを活用したウェルネスツーリズムの推進に取り組む。」の記載の中で取り組んでまいります。
44頁・5行	ア ターゲットマーケティングと効率的なプロモーションの推進	-	その他SNSプロモーションの強化 アニメツーリズム、フィルムツーリズム、ユーチューバーやTikTokerが終結する動画イベントの誘致等	ご意見ありがとうございます。 本文を「ターゲットとなる市場の深い消費者理解が不可欠であり、新たに適切な消費者調査の実施を通して将来像の達成に必要なターゲットと、沖縄が抱える消費者のブランドの課題、ブランド強化の機会を見定め、消費者視点に基づいたブランド戦略を立案した上で、ブランド戦略としてのBe.Okinawa の効果的な運用を含む、誘客プロモーション施策や観光消費拡大、滞在満足度向上、受入体制整備など各分野の具体的施策につなげる」として、記載の中で取り組んでいきます。

頁・行	素案（案）	修正案	ご意見	ご意見に対する考え方
47頁・2行	<p>第5章 基本施策【1 施策の展開】  (3) ウ「マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興」</p>	-	<p>MICE振興に関して賛成しております。コロナ禍で難しい部分があるかと存じますが、是非積極的に進めて頂きたいです。  MICE推進方法に関しては、特にM・I・Cについて、誘致支援、補助金、「沖縄MICEネットワーク」の更なる活用がポイントになると考えております。  MICEのプランナーやオーガナイザーが、1カ所で様々なことをまとめて相談できる環境が、ハワイや済州では整っております。宜しくお願い致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。  ご意見として認識し、関係者間にも共有したいと思います。</p>
43頁・26行	<p>(2)DX を活用した多彩かつ質の高い観光の推進  消費者ICT 等の活用や観光 DX の促進を図り、島しょ県としての特性・優位性も活かしながら産業としての競争力を強化し、マスマーケティングからターゲットマーケティングへのシフトチェンジを図る。また、観光産業従事者の社会的な地位向上に向けて、観光産業の雇用環境の改善と安定的に質の高い雇用の確保が可能となる体制の構築を図る。</p>	<p>(2) DX を活用した多彩かつ質の高い観光の推進  <u>消費者調査を通したターゲット市場における消費者の理解に基づくブランド戦略を策定するとともに、</u>消費者ICT 等の活用や観光 DX の促進を図り、（以下略）</p>	<p>素案に記載の「消費者ICTの活用や観光DXの促進」を図りターゲットマーケティングにシフトチェンジをするにあってもそのベースとなる消費者理解は不可欠であり、ブランド戦略策定には適切な消費者調査が必要であることから、その点について左記の通り加筆いたしました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。  第5章 基本施策  1 基本施策の展開  (2)にて、修正文案の内容を記載していることから、素案における文案どおりとしたいと思います。</p>
43頁・26行	<p>(2) DX を活用した多彩かつ質の高い観光の推進  本県では入域観光客数は順調に増加している一方、観光客一人当たりの消費額及び平均滞在日数は伸び悩んでおり、世界水準の観光地の形成に向けては観光の質の向上を図る必要があるため国内・国外観光客の行動歴、購買データ等の観光ビッグデータのエビデンスに基づき、多様なニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図る。また、ICTやデジタル技術を活用し、観光客の利便性向上に取り組むとともに、観光業界の業務効率化を推進し、沖縄ならではのワーケーション拠点の形成に向けた取組を行うほか、外国人観光客の受入体制の整備や観光人材の育成など、沖縄観光の品質向上を図るための取組を行う。</p>	<p>(2) DX を活用した多彩かつ質の高い観光の推進  ・・・、世界水準の観光地の形成に向けては観光の質の向上を図る必要があるため、<u>適切な消費者調査を通して消費額向上が見込めるターゲット市場における消費者の理解を深め、マーケティング戦略を立案し、国内・国外観光客の行動歴、購買データ等の観光ビッグデータのエビデンスに基づき、</u>多様なニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を<u>誘致するターゲットマーケティングへの転換を図る。</u>の<u>プロモーション施策など一貫通貫での沖縄ブランドの強化を進める。</u>  また、ICTやデジタル技術を活用し、<u>国内・国外観光客の行動歴、購買データ等の観光ビッグデータのエビデンスに基づき、</u>観光客の利便性向上に取り組むとともに、（以下略）</p>	<p>上記意見に記載の通り、ブランド戦略に基づく消費者戦略について追記したことを踏まえて、あるべきステップとしての①消費者調査→②マーケティング戦略→③具体的な施策対応・ICTデジタル技術活用・・・という手順に沿った形に原文をなるべくいかなしながら、加筆修正いたしました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。  ご意見を反映させていただきます。</p>

頁・行	素案（案）	修正案	ご意見	ご意見に対する考え方
44頁・5行	<p>ア 即時性の高いデータ分析とターゲットマーケティング DXを活用した観光客の動態の変化や生の声をリアルタイムに近い形で施策及び現場に活かすため、即効性・実効性の高い観光統計の集計・分析を行い、トランジット客や県内観光客も含めたデータに基づいた季節による需要の偏在や地域による需要の格差を解決するための方策を検討する。</p> <p>また、Be.Okinawa ブランドイメージの認知度向上を目指し、富裕層や三世代家族、欧米豪からの外国人観光客、東アジア単位での周遊客など将来像の達成に必要な顧客層や良質かつ持続可能な旅行需要に着目したターゲットマーケティングを展開し、必要な受入対策を行うなど、持続可能な観光地として、世界から選ばれるよう戦略的な市場開拓を行う。</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外観光客の特性に合わせたマーケティング</li> <li>・沖縄観光ブランドの向上</li> <li>・多様な市場に対応した効果的な誘客活動の展開</li> </ul>	<p><u>ア 消費者調査と即時性の高いデータ分析に基づくマーケティング</u> <u>持続可能な観光地として、世界から選ばれる強い沖縄ブランドを構築するには、来県観光客のデータ分析だけではなく、ターゲットとなる市場の深い消費者理解が不可欠であり、新たに適切な消費者調査の実施を通して将来像の達成に必要なターゲットと、沖縄が抱える消費者のブランドの課題、ブランド強化の機会を見定め、消費者視点に基づいたブランド戦略を立案した上で、ブランド戦略としてのBe.Okinawaの効果的な運用を含む、誘客プロモーション施策や観光消費拡大、滞在満足度向上、受入体制整備など各分野の具体的施策に繋げる。</u></p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者理解を軸とした国内外での消費者調査の実施</li> <li>・国内外観光客の特性に合わせたマーケティング</li> <li>・多様な市場に対応した効果的な誘客活動の展開</li> </ul>	<p>上記意見で整理したことを踏まえて、消費者調査+即時性の高いデータ分析 と2段階のデータ活用を促進するとともに、“ターゲットマーケティング”と限定することは不必要に施策を狭める可能性があり、本来は調査に基づいたうえで、適切な施策を決めていくことから、タイトル上は”マーケティング”とだけいたしました。</p> <p>同じく上記②で整理した通り、①消費者調査→②マーケティング戦略策定→③具体的な施策対応・ICTデジタル技術活用 と適切に手順をステップ化する観点から、原文を生かしながら整理いたしました。</p> <p>【施策】に関しては、繰り返しとなりますが、ブランド強化ステップに基づいて、消費者理解のための消費者調査が不可欠であることから、その点を追記する一方で、「沖縄観光ブランドの向上」は、他の3つ施策と比較すると上位に位置づけられる戦略や方向性であり、レイヤーが異なるため3つの施策のみ残すことといたしました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご意見を反映させていただきます。</p>